

イノベーションセミナー 若者の未来

:京大国際科学イノベーション棟

過度な法的思考と横並び志向は行動を
萎縮させる

失敗を恐れず、よりしなやかに、よりした
たかに、不死鳥のようにはばたこう

2018. 11. 24

70J 重村達郎

t-shigemura@himawarilaw.com

(弁護士 ひまわり総合法律事務所 大阪弁護士会)

一 法と道徳・倫理との違いと司法の役割

不倫は犯罪？ — 違法・合法と当・不当

なぜ慰謝料を支払わされるの？

— 民事責任と刑事責任の違い

道徳を昇華させたら法になる？

行政取締法規～赤信号、皆で渡れば

恐くない？

法の本質は実効性を担保するサンクション

(刑罰と損害賠償)

法治主義と立憲主義はどう違う？

人治と法治

法に基づく行政と権力の規制

悪法も法か？－アイヒマンと「凡庸の悪」

現代立憲主義における司法－裁判所の役割

最高裁は憲法の番人－違憲審査制による憲

法規範性の確保

「まだ最高裁がある！」は本当？

都合の良い「公共の福祉」による人権の制約

法的概念と法規制

権利の主体・客体と私的自治の原則

奴隷には人権なんてなかった

物に対する支配(物権)と人に対する請求
権(債権)

胎児はいつから人として扱われるか？

人体はモノ？臓器売買は許されるのか？

二 企業との共同研究と企業倫理・研究者倫理

ノバルティスファーマ、武田薬品の薬効データ
改ざん事例が教えたこと

データ解析を社員にさせては研究の中立性
はないと思え

奨学寄付金のわな－経理面での透明性の
確保と個別委託研究契約へ

利益相反の有無をしっかりとチェック

税や政治資金と同じ自主申告－基本的には
職業倫理の問題～でもゴーンの例もあるぞ

企業の研究開発と社会的責任、専門家責任

バレなければいいのか

相次ぐデータ偽装が示す日本社会の劣化と
専門家への信頼の喪失

欠陥住宅訴訟や医療過誤訴訟と専門家責任
逃げない、ごまかさな

医薬品は効能だけでなく安全性の確保も大切

副作用報告はきちんと開示—検証

MMR予防接種禍訴訟の経験

STAP細胞論文作成疑惑は何だったのか

問題設定とすべきはSTAP細胞の存否ではない
仮説(大胆なひらめき)を証明するのが科学

「科学者は真実を語れ」

結果は一里塚、継続的な過程の検証が命
合理的な疑いを入れない程度の立証とは

最高裁東大Hルンバール事件判決

研究者としての科学的良心と専門職倫理をどう確保するか

今や学生に論文作成のイロハから指導する時代へ

論文コピペはもつてのほか、引用文献の明示

判例における結論のみの我田引水の引用と

マニュアル思考の弊害

個別具体的な事例に即した分析と柔軟な思考を

研究不正にもいろいろあるーガイドライン

三 先端医科学研究と生命倫理

古くは**人体実験**が問題にーナチス、731部隊
ロボットミ－手術etc.

科学研究の軍事利用は許されるか

ES細胞の利用～生後5～8Wの受精卵を壊
して研究に利用 iPs細胞

ヒトはいつから人になるのか

受精は生命の誕生？

受精－胎児－人への連続性

人が人たるゆえんは？

猿だって道具を使うらしいぞ

個人の人格の自律性の確保—person論

クローン人間は許されるのか

遺伝子操作による医科学研究はどこまで許される？

臨床研究法と再生医療等安全確保法の策定

生殖医療技術の進展と親子の法的地位

人工授精—借り腹で生まれた子の法的な母親は誰？

胎児診断技術の発展と障害者差別

病院内倫理委員会の設置

ガイドラインとアウトサイダーの存在

社会の公序として許される限界は何か

－生命倫理学

哲学、法学、倫理学etc.学際的な研究

脳死、安楽死、尊厳死(消極的安楽死)

脳死と植物状態との違い

臓器移植法－死についての二重基準

四 研究者の起業支援、教育のあり方

特許出願とそれを支える大学の支援体制、
ネットワーク

大弁での取り組み－弁理士会、司法書士会との協働
アントレプレナーシップ(起業家精神)とクラウド
ファンディング、トレードフェアの開催

NPO法人アントレプレナーシップ開発センター
<http://www.entreplanet.org>

とりわけアジアの若者との交流

研究体制継続に向けた日銭を稼げるか
－ストックビジネスの有用性

教育体制ーシステムの問題

自分の頭で考え、まとめ、人に伝える訓練

～個の尊重

プレゼンは単なる営業技術の問題ではない

ハーバード・サンデル教授『これからの正義の話をしよう』

教育の本質と双方向性教育の必要性

最高裁旭川学テ判決ー人格的接触

失敗を恐れない気概とそれを許容する文化

自身の経験から

市役所での経験、30をすぎて大学に入り直す

失敗学 畑村洋太郎著『失敗学のすすめ』(講談社
文庫)

日本陸海軍はなぜ無謀な戦争に走ったのか
幕僚統帥と上層部の無責任体制

横並び体質と寄らば大樹の陰先向をぶち破れ

大学を目指す高校生諸君へ

偏差値で大学を決めてはダメ

学力優秀が良い医者とは限らない

大学生・社会人の皆さんへ

大学は本当に学びたいと思った時に本来入るべき
過渡期－モラトリアムの位置づけなら、友人が最大
の財産

大卒一斉入社之功罪－せめて出口から変えよう

ご静聴ありがとうございました。

ご意見・質問、感想等歓迎ー下記メールまで

重村達郎

t-shigemura@himawarilaw.com